

第4章 机上調査

本項では、第一次スクリーニング結果をもとに、盛土区分および盛土規模について整理する。

4.1 盛土区分

第一次スクリーニングでは、谷埋め型の盛土01～06、腹付け型の盛土07の形箇所の盛土部が区分されている（図4.1-1）。このうち、大規模盛土造成地の条件である盛土面積（3,000m²以上）を有する造成地として、盛土01～盛土03の3箇所が抽出されている。

当該業務では、この3箇所の盛土部を対象として第二次スクリーニング計画策定を行う。

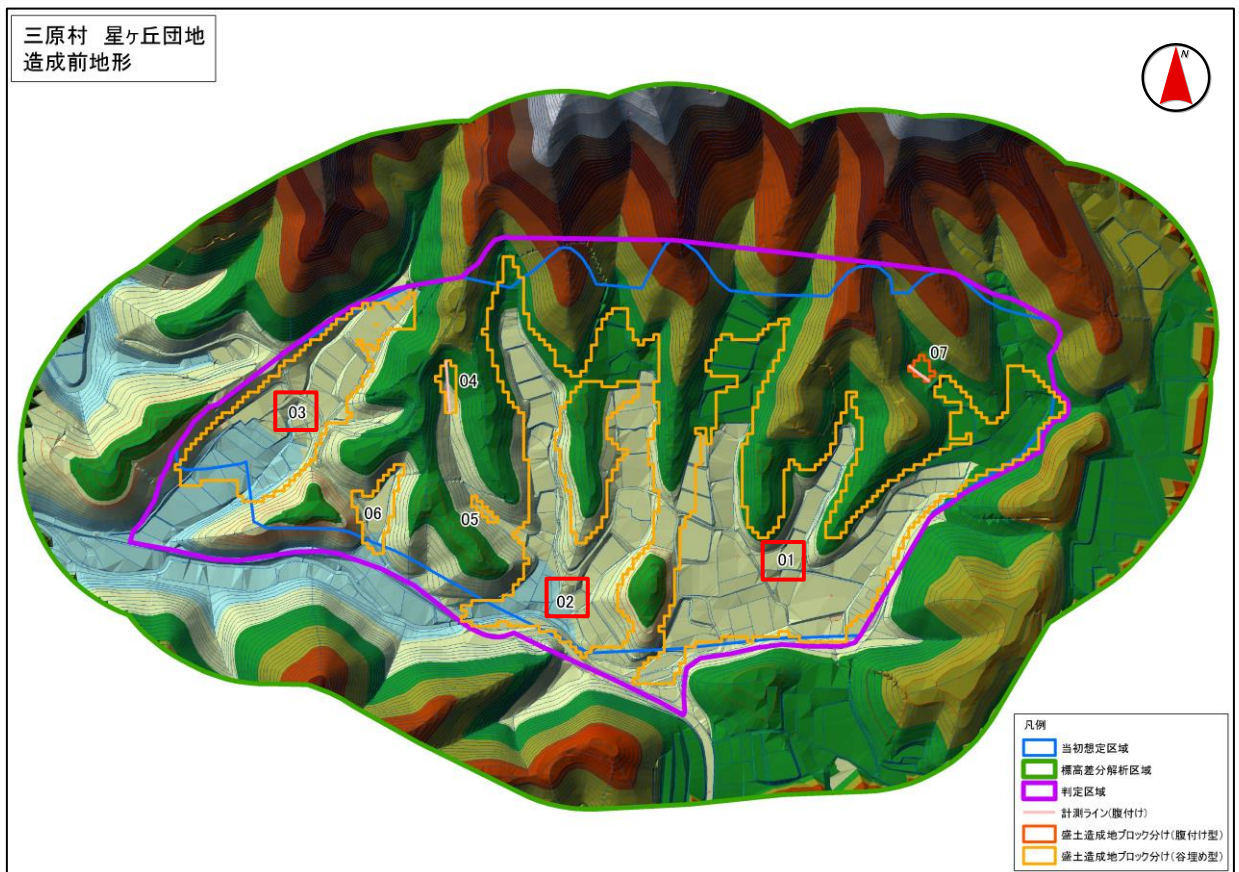


図4.1-1 第一次スクリーニングにおける盛土区分

「都開第1号 香南市外 大規模盛土造成地第一次スクリーニング調査委託業務 H28.3」から引用

なお、これら3箇所の盛土部の盛土番号を以下の通りに称す。

- 盛土部01 ⇒ 三原村星ヶ丘団地-01
- 盛土部02 ⇒ 三原村星ヶ丘団地-02
- 盛土部03 ⇒ 三原村星ヶ丘団地-03

また、三原村星ヶ丘団地-01～03の盛土範囲は、元地形の尾根地形を参考に図4.1-2に示した範囲とした。



図4.1-2 盛土範囲 (S=1/6,000)

4.2 盛土規模

4.2.1 主測線の設定

三原村星ヶ丘団地-01～03について、「都開第1号 香南市外 大規模盛土造成地第一次スクリーニング調査委託業務 H28.3」の元地形データをもとに、盛土を施工した谷地形沿いに主測線を設定した（図4.2-1）。

なお、主測線の設定理由は以下の通りである。

○ 三原村星ヶ丘団地-01

図4.2-1に示す通り、当盛土範囲には3つの谷地形がある。東側の谷部は腹付け型の盛土形状を示し盛土量も少ない。また、中央部の谷部は西側の谷部に比べ縦断方向の長さが短い。以上から、谷部の縦断方向の長さが長く、**盛土量も多い西側谷部に主測線を設けた。**

○ 三原村星ヶ丘団地-02

図4.2-1に示す通り、当盛土範囲には2つの谷地形がある。谷部の縦断方向の延長や盛土量もほぼ同等であることから、ペーパーロケーションで断面図を作成したうえで盛土規模を想定し、協議の結果（第2回協議記録簿参照）から、**東側谷部に主測線を設けた。**

○ 三原村星ヶ丘団地-03

図4.2-1に示す通り、谷中央部沿いに主測線を設けた。

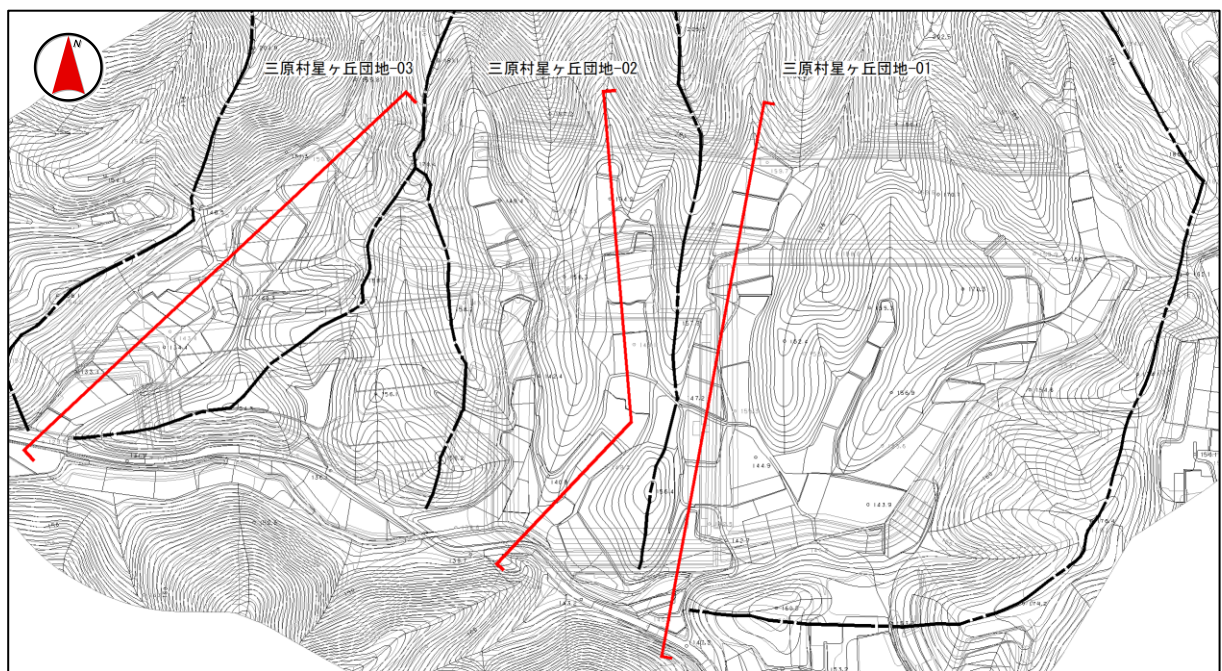


図4.2-1 各盛土区分の主測線位置 (S=1/6,000)

また、「都開第1号 香南市外 大規模盛土造成地第一次スクリーニング調査委託業務 H28.3」

の造成前後の地形データをもとに作成した平面図に、発注者提供の切盛り区分図を投影した図面を作成した（図4.2-2）。これに各盛土区分の主測線を投影すると、概ね盛土範囲と合致する。

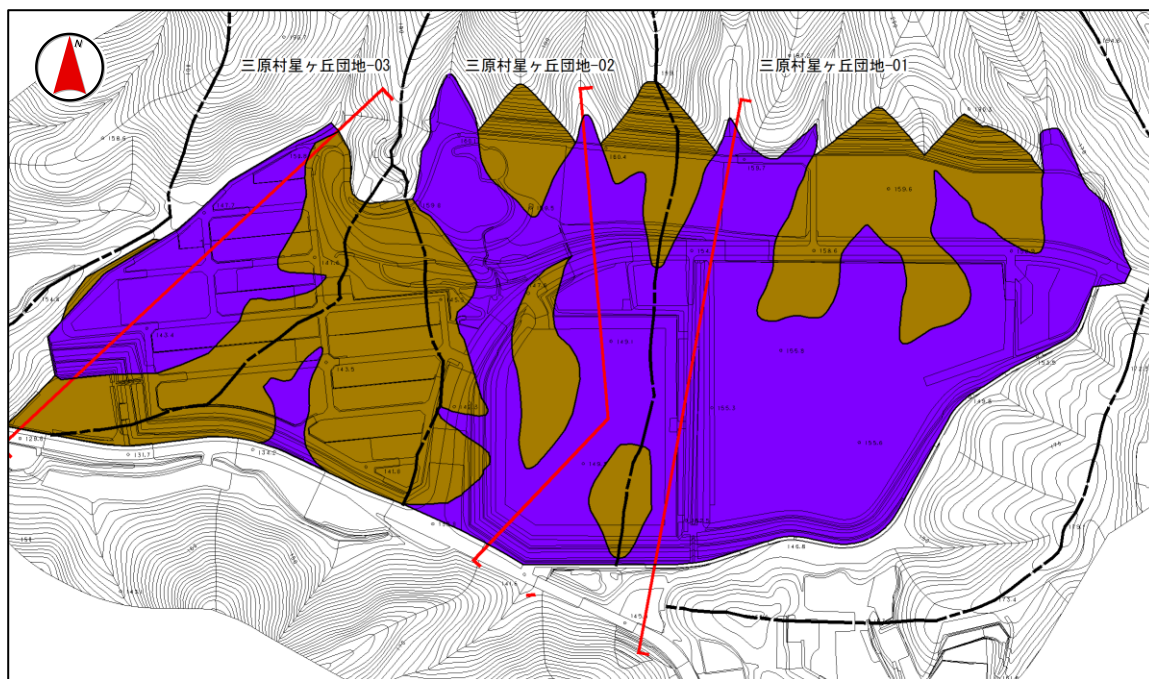


図4.2-2 切盛り区分と主測線の位置関係 (S=1/6,000)

4.2.2 盛土規模の諸元

本項では、変動確率算出時に必要となる盛土の諸元および台帳（宅地カルテ）に記載する盛土の諸元について、各盛土部について整理する。

整理する項目は、以下の通りである。

- ① 盛土面積（A）
- ② 盛土幅（w）
- ③ 盛土距離（d）
- ④ 盛土高（H）
- ⑤ 盛土厚さ（D）
- ⑥ 原地盤面の勾配（ β ）
- ⑦ 盛土の天端幅（L1）
- ⑧ のり面勾配
- ⑨ ひな壇の傾斜角（ θ ）

【盛土面積（A）】

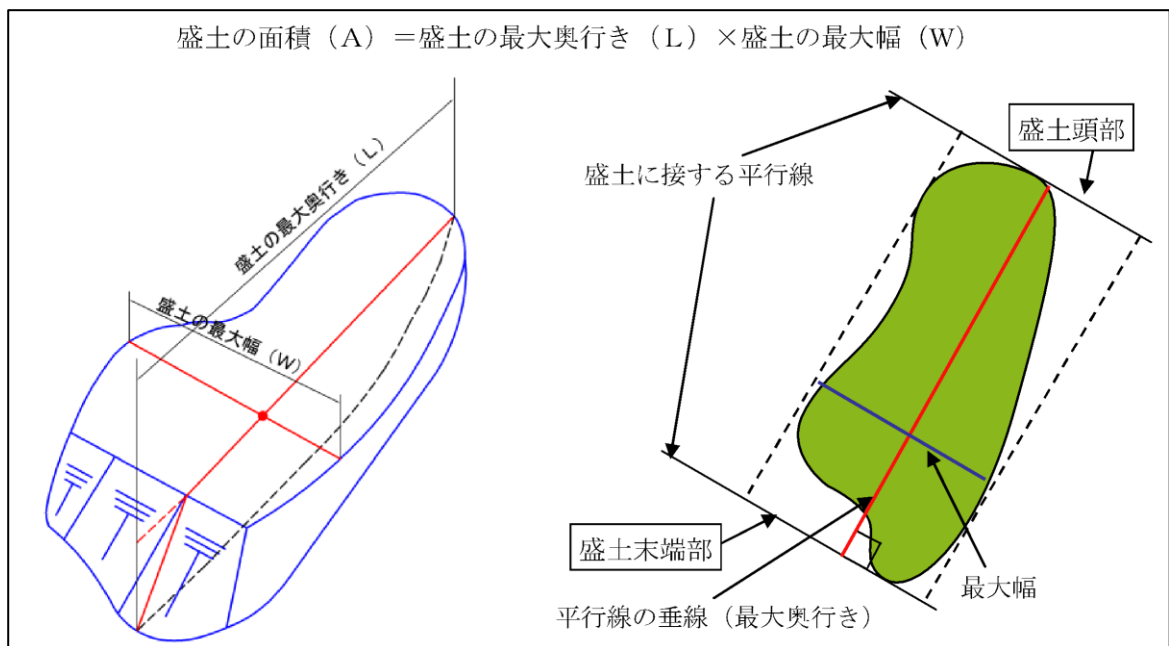


図4.2-3 盛土面積の計測のイメージ

大規模盛土造成地の滑動崩落対策推進ガイドライン H27.5 P.1-32

各盛土部の面積は、「都開第1号 香南市外 大規模盛土造成地第一次スクリーニング調査委託業務 H28.3」の「大規模盛土造成地一覧表」から引用した。

表4.2-1 各盛土区分の面積

市町村名	仮名称	盛土のブロックNO	地形判読による盛土造成地の種類	面積 (m ²)	大規模盛土造成地の種類	備考
三原村	星ヶ丘団地	01	谷埋め型	46,675.00	谷埋め型	
		02	谷埋め型	32,125.00	谷埋め型	
		03	谷埋め型	16,925.00	谷埋め型	

「都開第1号 香南市外 大規模盛土造成地第一次スクリーニング調査委託業務 H28.3」から引用・一部加筆

【原地盤面の勾配 (β) ・盛土距離 (d)】

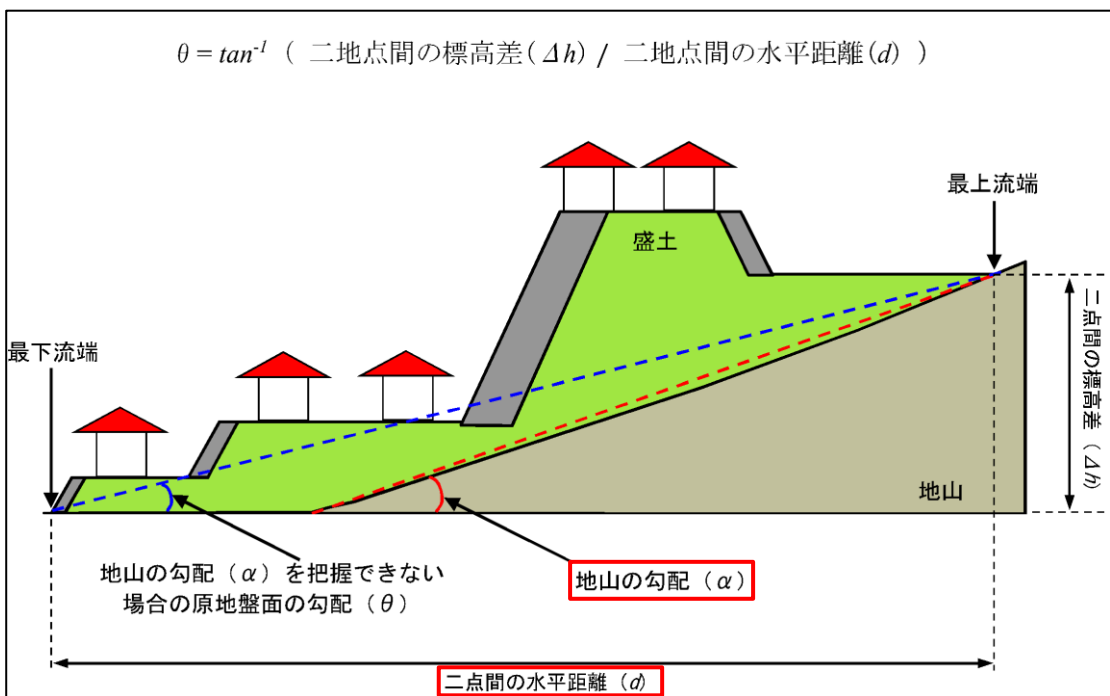


図4.2-4 原地盤面の勾配の計測イメージ

大規模盛土造成地の滑動崩落対策推進ガイドライン H27.5 P.1-33

【盛土高 (H)】

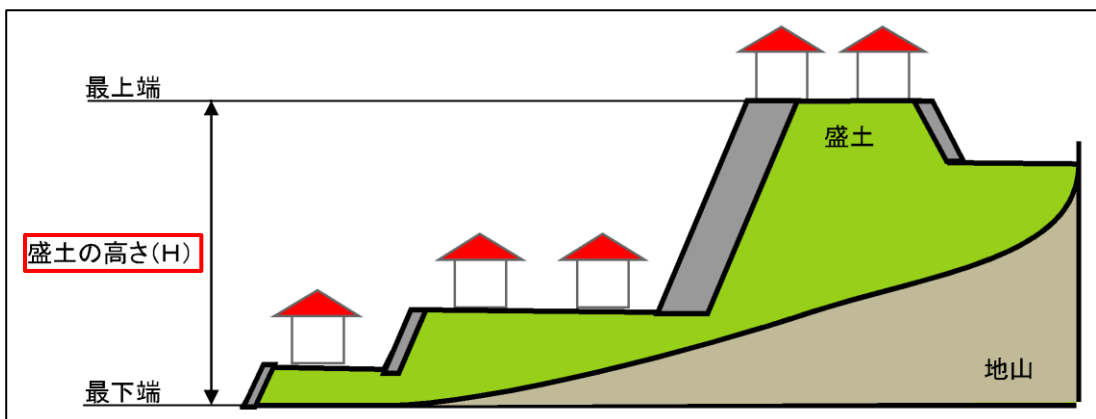


図4.2-5 盛土の高さの計測イメージ

大規模盛土造成地の滑動崩落対策推進ガイドライン H27.5 P.1-34

【盛土幅 (W) ・盛土厚さ (D)】

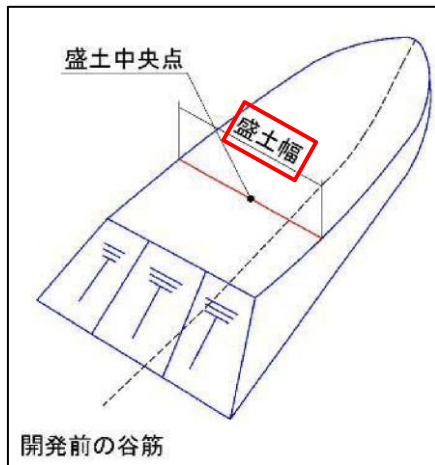


図4.2-5 盛土幅のイメージ

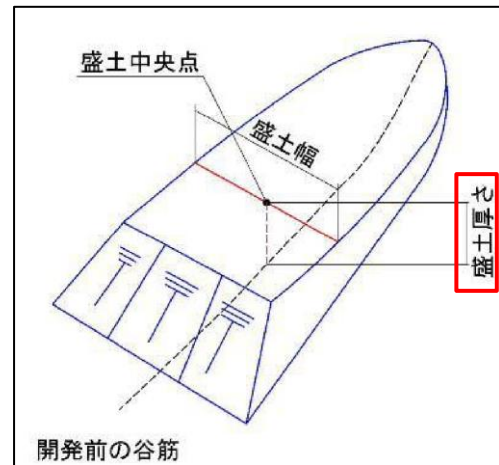


図4.2-6 盛土厚さのイメージ

大規模盛土造成地の滑動崩落対策推進ガイドライン H27.5 P.1-63

【盛土の天端幅 (L1)】

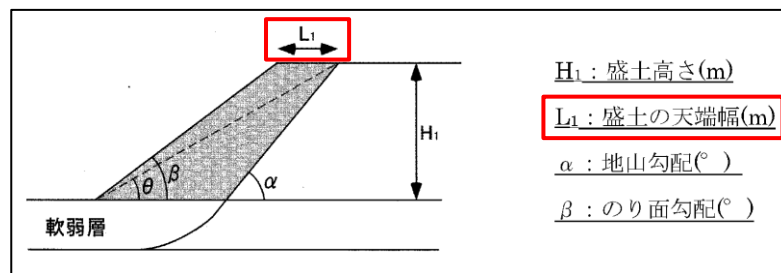


図4.2-7 盛土天端幅のイメージ

大規模盛土造成地の滑動崩落対策推進ガイドライン H27.5 P.1-59

【のり面勾配】

「第5章 現地踏査」において整理するが、当該大規模盛土造成地の盛土のり面勾配は、のり面の標準的な形状である 30° 未満 (1 : 1.8) となる。

【ひな壇の傾斜角（ θ ）】

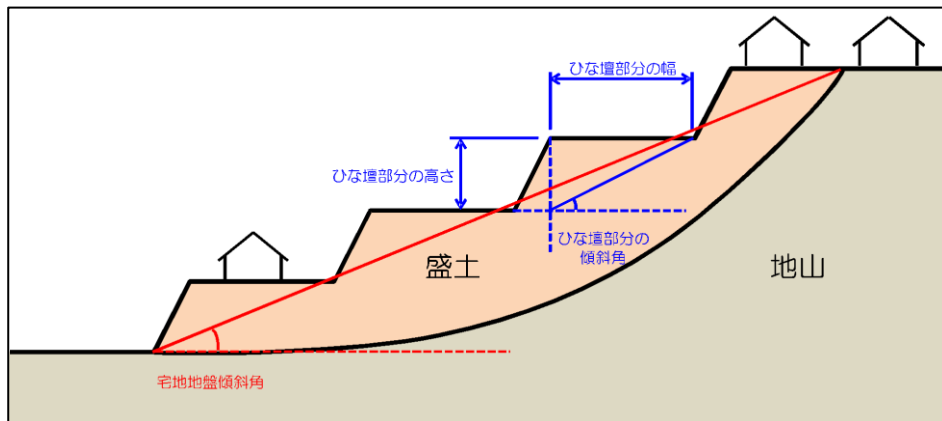


図4.2-8 ひな壇の傾斜角のイメージ

大規模盛土造成地の滑動崩落対策推進ガイドライン H27.5 P.1-14

次頁から、盛土規模（諸元）について、盛土部ごとに整理する。

(1) 三原村星ヶ丘団地-01

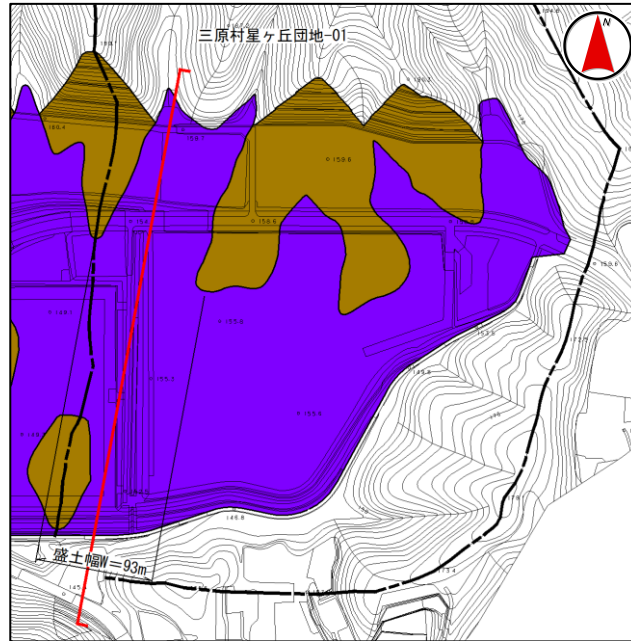


図4.2-9 盛土幅：三原村星ヶ丘団地-01 (S=1/6,000)

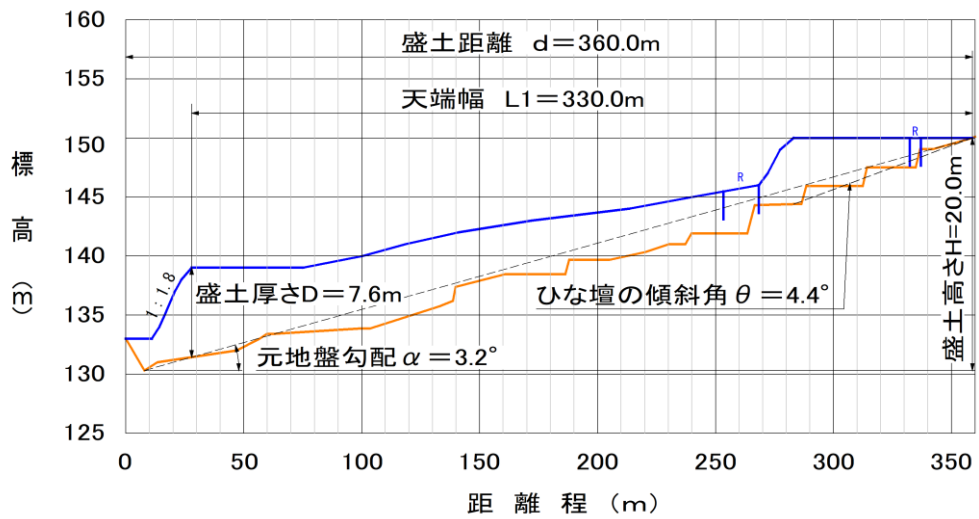


図4.2-10 模式断面図：三原村星ヶ丘団地-01

表4.2-2 盛土規模の諸元：三原村星ヶ丘団地-01

項目	盛土の諸元	備考
① 盛土面積 (A)	46,675m ²	
② 盛土幅 (W)	93.0m	
③ 盛土距離 (d)	360.0m	
④ 盛土高 (H)	20.0m	
⑤ 盛土厚さ (D)	7.6m	
⑥ 原地盤面の勾配 (α)	3.2°	
⑦ 盛土の天端幅 (L ₁)	330.0m	
⑧ のり面勾配 (β)	1 : 1.8	α = 29°
⑨ ひな壇の傾斜角 (θ)	4.4°	

(2) 三原村星ヶ丘団地-02

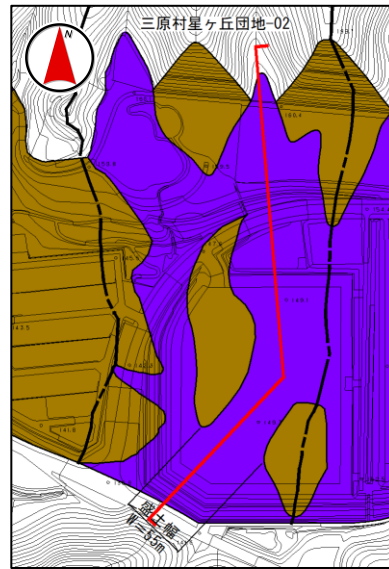


図4.2-11 盛土幅：三原村星ヶ丘団地-02 (S=1/6,000)

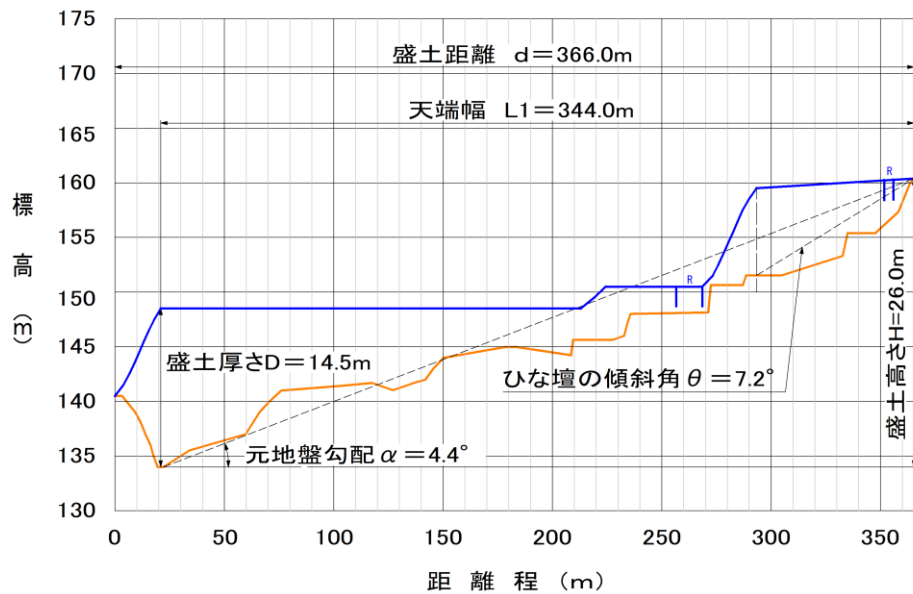


図4.2-12 模式断面図：三原村星ヶ丘団地-02

表4.2-3 盛土規模の諸元：三原村星ヶ丘団地-02

項 目	盛土の諸元	※西側谷部	備 考
① 盛土面積 (A)	32,125m ²	32,125m ²	
② 盛土幅 (W)	55.0m	29.0m	
③ 盛土距離 (d)	366.0m	404.0m	
④ 盛土高 (H)	26.0m	26.0m	
⑤ 盛土厚さ (D)	14.5m	13.5m	
⑥ 原地盤面の勾配 (α)	4.4°	3.9°	
⑦ 盛土の天端幅 (L1)	344.0m	375.0m	
⑧ のり面勾配 (β)	1 : 1.8	1 : 1.8	α = 29°
⑨ ひな壇の傾斜角 (θ)	7.2°	7.0°	

※変動確率が大きくなる盛土の諸元が大きい東側谷部を選定

(3) 三原村星ヶ丘団地-02 (参考資料：西側谷部)

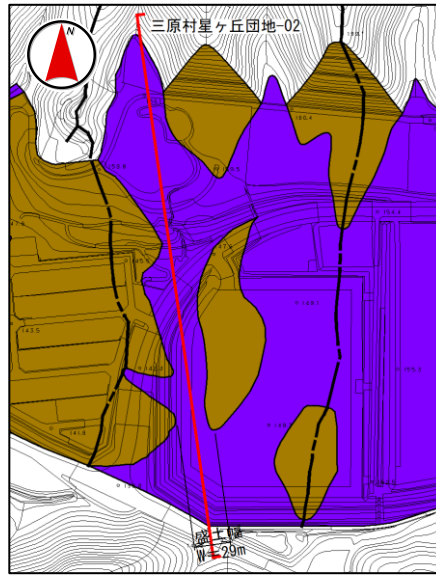


図4.2-13 盛土幅：三原村星ヶ丘団地-02：西側谷部 (S=1/6,000)

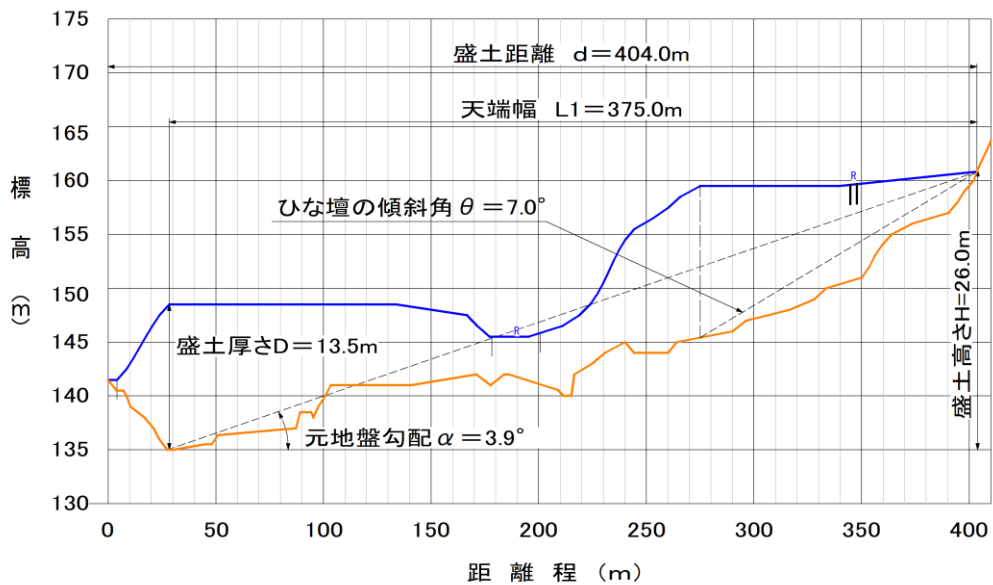


図4.2-14 模式断面図：三原村星ヶ丘団地-02：西側谷部

表4.2-4 盛土規模の諸元：三原村星ヶ丘団地-02：西側谷部

項目	盛土の諸元	備考
① 盛土面積 (A)	32,125m ²	
② 盛土幅 (W)	29.0m	
③ 盛土距離 (d)	404.0m	
④ 盛土高 (H)	26.0m	
⑤ 盛土厚さ (D)	13.5m	
⑥ 原地盤面の勾配 (α)	3.9°	
⑦ 盛土の天端幅 (L ₁)	375.0m	
⑧ のり面勾配 (β)	1 : 1.8	α = 29°
⑨ ひな壇の傾斜角 (θ)	7.0°	

(4) 三原村星ヶ丘団地-03

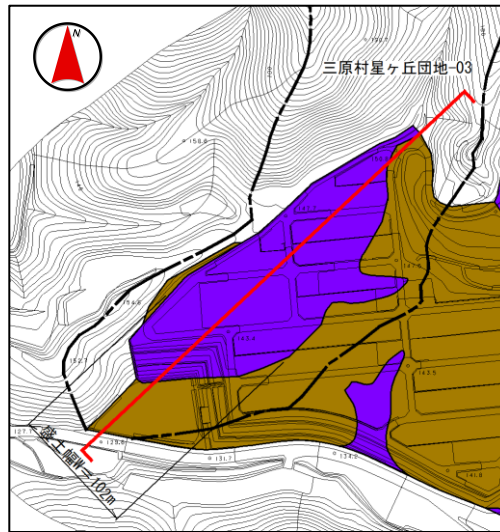


図4.2-15 盛土幅：三原村星ヶ丘団地-03 (S=1/6,000)

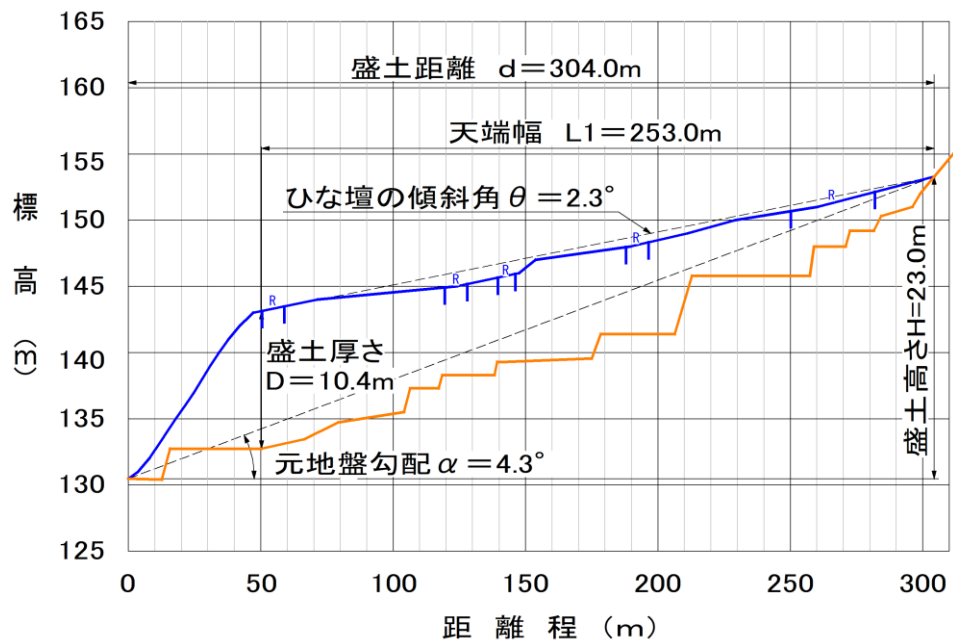


図4.2-16 模式断面図：三原村星ヶ丘団地-03

表4.2-4 盛土規模の諸元：三原村星ヶ丘団地-03

項目	盛土の諸元	備考
① 盛土面積 (A)	16,925m ²	
② 盛土幅 (W)	102.0m	
③ 盛土距離 (d)	304.0m	
④ 盛土高 (H)	23.0m	
⑤ 盛土厚さ (D)	10.4m	
⑥ 原地盤面の勾配 (α)	4.3°	
⑦ 盛土の天端幅 (L ₁)	253.0m	
⑧ のり面勾配 (β)	1 : 1.8	$\alpha = 29^\circ$
⑨ ひな壇の傾斜角 (θ)	2.3°	